



発行所
株式会社 建設新聞社
〒849-0301
小城市牛津町乙柳1145-7
Tel 0952-66-5750 (代)
FAX 0952-66-5751
購読料 月額5,775円(税込)
社団法人 日本専門新聞協会 会員

「サークルボード緑化工法」
工法説明会に約60人参加

杉間伐材を有効活用

ミラクルソル協会



サークルボード緑化工法などについて説明する原裕理事長

ミラクルソル協会(原裕理事長)は13日、伊万里市民センターでミラクルソル工法の一つである「サークルボード緑化工法」の工法説明会を開催した。建設会社や建設コンサルタント会社から約

60人が参加し、杉間伐材を有効に活用する同工法の説明を聞いた。有田町内の施工現場で実施する予定だった見学会は雨のため中止となった。

ミラクルソルは、空き瓶などのガラス廃材を焼成してつくるリサイクル製品で、無数の微細な気孔を有し、軽量で強固なことが特長。製造条件によつて、比重や吸水・非吸水性能を調節できる。説明会では、同協会技

術積算委員の松尾保成氏(工学博士)が、ミラクルソルを活用した水質浄化システムの特長や施工事例を紹介。その中で「ミラクルソルは他の水質浄化材に比べ、表面積が広い(1立方メートル当たり約2万1000平方メートル)が、これが浄化能力の高さにつながっている」と解説した。

続いて、原理事長(工学博士)が舗装や緑化など用途に応じたさまざま

な工法の概要、施工事例を説明し、「これからのものづくりは、新しい材料や製品の開発が重要となる。工法を選ぶ場合にも、二酸化炭素の削減、廃資源の再利用など環境負荷の低減に関する項目を取り入れ、環境に配慮した工法を選んでいくことが大切」と話した。

サークルボード緑化工法は、保水機能をもつミラクルソルと間伐材を用いた斜面緑化工法。社会福祉法人慈光会の「あすなろの里」男性居住棟建設に伴う造成工事(有田町、造成面積4676平方メートル)で、敷地内の斜面約

270平方メートルを対象に施工している。基盤材のストッパーとして唐津市北波多産の杉間伐材(直径約25センチ、厚さ約10センチ)を674個使用し、ミラクルソルと培養土で約10センチの基盤材を形成、芝生で緑化する計画。同工法については2005年5月に特許を取得している。



サークルボード緑化工法の施工のようす